

式 辞

天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、ここに、全国老人クラブ連合会創立 60 周年記念 全国老人クラブ大会を開催できますことは、私ども老人クラブ関係者にとりまして、誠に光栄の至りであります。

また、内閣総理大臣、衆参両院議長をはじめ、ご列席いただきましたご来賓の皆様には、厚く御礼を申し上げます。

本日、創立 60 周年の記念すべきこの大会において、栄えある表彰を受けられる皆様には、その長年にわたるご尽力とご功績に対し、深甚なる敬意を表します。

老人クラブは、戦後まもなく高齢者の自主組織として誕生し、地域のなかで、集いの場、交流の場を求める多くの高齢者の共感を得て、「草の根」の運動として全国に広がりました。その後、より広域的な活動展開の必要性と、高齢者の保健・福祉の向上をめざす機運が高まるなか、昭和 37 年に全国老人クラブ連合会は結成されました。

以来 60 年にわたり、仲間づくりを基に、「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動をはじめとする多様な活動を展開するとともに、すべての人々が健康で安心して暮らしていくための社会保障の充実に向けた提言・提案を行ってまいりました。

今日、わが国では少子高齢化と人口減少が進行し、社会経済の大きな転換期を迎えています。このようななか、将来にわたり社会の活力を維持していくためには、私たち高齢者が自らの意欲と能力に応じて、社会の一員として役割を担っていくことが求められます。

全国の老人クラブが、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のテーマのもと、地域の人々とともに、希望をもって健康づくり・地域づくりの輪を広げていくことが、明るく豊かな長寿社会を実現することにつながるものと考えております。

この創立 60 周年を新たな門出として、なお一層取り組みを進めてまいりたいと存じます。

天皇皇后両陛下のご健康と弥栄（いやさか）をお祈り申し上げ、そしてご参集の皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

令和 4 年 11 月 8 日

公益財団法人 全国老人クラブ連合会会長 清 家 篤